地域座談会（下北条地区）　意見交換記録

と　き　　平成２１年５月１５日（金曜日）
　　午後７時から午後９時１５分
ところ　　北栄町中央公民館２階講堂
参加者　　３６　人

番号	項　目	町民等からの意見等要旨	町からの発言要旨
1	人件費・職員の定数について	●人件費が年々削減されているようだが、人員も削減されているのか？仕事の量も増え、職員の負担が多くならないか？ ●合併前と合併後（現在）の職員はどうか ●先ほどから言われている職員とは正規職員であるか？臨時職員はどのくらいか	●定員適正化計画に準じ、類似団体に合わせながら、また、事業・事務を考慮し適正な定員管理を図っていく。今後、下水道事業の終結、給食センターの統合等により減少していく見込みである。毎年見直しを行う。 業務について、係を取り除いて室体制にし、担当職員が不在なのでわからないということがないように、皆でやっていく。人員が減少したからといってサービスが落ちることにならないようにする。 ●合併前は、１９９人、合併後（２１年４月現在）１７９人である。合併後、早期退職があり、約２０人減となっている。 ●臨時保育士も含め１３３人である
2	土地開発公社について	●土地開発公社はどうなっているのか。 ●土地は今のうちに売ってしまったほうが良いのでは？	●現下の経済状況では、ますます進出企業の話がなく困っている。県外に出向いて企業誘致等活動を試みるがなかなかである。 　幸いに、現在、民間会社に貸し付けており年間約２００万円強の賃貸料収入があり、さらに町から無利子融資を受けており、若干ではあるが簿価は下がっている。 ●簿価が坪６万５千円強と高く、買手がつかない。安売りすれば、

			その差額を町費(税金)で賄うことになるが、議員や住民の理解が得られない。当面、このままで推移するしかない。
3	下水道の負担金について	●下水道の負担金について、合併前には、大栄地区と北条地区では大差があったと思うが合併後は統一されたのだろうか？ ●下水道の使用料についてであるが、私達の地区は開始になったのが一番最後である。今まで何十年も待っていたのに、使用料が最初頃より高いのは不公平であると思うが、何とかならないか？ ●下水道の使用料の比較の表の計算がおかしいのではないか？ ●市町村ごとの使用料はどうなっているのか？平均ではどうなっているか。	●合併前、大栄地区は１戸あたり２０万円、北条地区は面積で計算し、支払い方法は大栄地区３回、北条地区は１０回の５年払い、前納報奨金もある。合併と同時に統一は難しく、歴史的経過もあり、現在も従来どおりである。 ●長い年月を必要とするため、やむを得ない。理解をいただきたい。 ●税抜きの基本料金であるため。 ●北栄町は水道使用量に対して２ヶ月ごとに計算。琴浦町は世帯割と世帯の人数で計算。
4	敬老会について（要望）	●敬老会のあり方について検討してもらいたい。（１，０００円で敬老に値するかどうか）１，０００円がないと敬老会ができないか）	●検討する。
5	納税組合について（要望）	●納税組合のあり方について、きちんと運営されているかどうか確認し、見直しをしていただきたい。	●検討する。
6	座談会について （要望）	●地域座談会と聞いて参加した。もっと町民の方に声かけをして、参加してよかったといいたい。 ●地域座談会は今後も計画されるのか？ ●地域座談会の日程についてだが、役場からの説明が長く、意見交換の時間が少ない。時間配分を	●　本年度は計画とおり５日間であるが、地区に出向き出前講座も必要ならば行っている。 ●　内容をはじめ開催時間含めて検証します。

		考えてもらいたい。	